

編集後記

◇6月の人事異動に伴い、編集委員会の委員長が交代しました。今月号の冒頭には、小川前委員長(前次長)の所長就任に当たってのご挨拶があります。題して「地球雑感」、この中にも述べられているように、今後とも本誌を、地球科学の多分野にわたる開かれた雑誌として、充実させていきたいと思ひます。

◇今月号にも依頼稿が含まれています。茨城大学の佐々木氏は、爪というたいへん身近なそして小さな試料が、硫黄同位体的研究により、我々が余り気付かない大きな地球化学的世界を切り開いてくれるという例を生き生きと描いて下さいました。日本が世界最大の隕石保有国であることは既に広く知られていますが、その発見・収集・研究に当初から携わってこられた国立極地研究所の矢内氏には、南極での隕石探査について寄稿して頂きました。続報も予定されています。ご寄稿下さった佐々木・矢内両氏に厚くお礼申し上げます。

◇雲仙岳の噴火活動により、多くの人々が依然として困難な避難生活を余儀なくされています。本号では、表紙とグラビアの一部に火砕流跡の写真を掲載しました。グラビア第1ページの写真は、朝日新聞6月15日朝刊の第1面に掲載されたもので、そのカラー版を本誌に掲載させて頂くことが出来ました。貴重な写真を提供して下さいました朝日新聞社のご厚意に、編集委員会として厚くお礼申し上げます。

◇本号にはまた、レーザー測距による雲仙岳の観測経過が報告されています。これは、観測の合間に、その作業の一断面を報告したものであり、研究結果の詳細については、別の機会に紹介したいと思います。

◇今回は、この欄のスペースを拡張して、編集の裏舞台の事なども少し話しておきましょう。……全ての原稿は、受付後編集委員会の手で、場合によっては委員以外の方にも援助を頼み、チェックされる。その結果著者に修正をお願いすることも稀ではない。この作業が完了するとレイアウトに入る。これは事務局の担当で

ある。限られたスペースを過不足なく埋めるため、レイアウトのやり直しということもしばしば起こる。だからゲラを見て一喜一憂することになる。初校は著者にも見てもらい、再校はこちらがチェックする。それでもミスをゼロにする事は出来ないものだ。一方、表紙とグラビアのレイアウトは、筆者が担当してきた。素人の悲しさ、うまくいっているとは思わないが、良い写真を選ぶようには努めてきた。原稿は不足気味で、海外からの招聘研究員の写真を借りるケースが少なくないが、全体として国内の写真が少ないのは残念である。原稿不足を見かねて知人の喫茶店(ヴィオラ)店主がプロの写真家を紹介してくれた。ボランティアで少し協力してくれるという。有難いことだ。彼の作品が近いうちに表紙を飾るであろう。ところで、編集委員会の仕事で最も重要なのは、企画と原稿チェックであろう。編集を2年もやっている、原稿を一蔑しただけで、どのくらい手がかかるか判るようになる。まず見るのは図・表・写真である。これが汚く、整理されていない原稿は、要注意である。たいていの場合、印刷原稿としての完成度は本文の方も低い。そして、大半の時間はこういう原稿のために費やされる。この点、依頼稿はほとんど完璧であり、感謝しつつ読ませて頂いている。……この編集作業の中心を、9—10月号では宮崎と尾上に交代します。

◇筆者は、ここでは編集者の立場であるが、寄稿者の側になることも勿論ある。最近、ある雑誌の特集に寄稿を頼まれて書く側になり、大変驚いた事がある。原稿の投稿は一昨年(1989)の秋、締切が父の死去と重なって、提出が幾分遅れた(それでも早い方だったらしい)。ゲラは翌年(1990)の春届き、直ちに見て送り返した。それから一年以上が経過した。いまだに出版されない。イギリスのG&B某という科学関係の出版社である。いったいどうなっているのか? これも他山の石とすべき一例だろうか。

副委員長 佐藤興平 記

地質ニュース編集委員会

委員長: 佐藤壮郎
副委員長: 佐藤興平・磯部一洋
幹事: 宮崎光旗・尾上 亨
委員: 三田直樹・岡村行信・鹿野和彦・山口 靖・金沢康夫・佐藤岱生・松本則夫・滝沢文教・松浦浩久・渡部芳夫

事務局: 総務部業務課広報係(山口秀樹・斎藤賢二)
〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会
事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地質 ニュース	第444号 1991年 8 月 号
	定価 700 円 実 費
1991年 8 月 1 日 発行	
編 集	工業技術院地質調査所
発行人	林 久 雄
発行所	株式会社 実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12
	〒 102
	Tel. (03)3265-0951 (代表)
	振替口座 東京1-32466
	麹町局私書箱第21号
印 刷	奥村印刷株式会社

©1991 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。